

(その三)

工場又は事業場の名称	東レ・ダウコーニング(株) 千葉工場
------------	-----------------------

(2) 揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

ア 計画年度に実施する対策の内容

(1)の計画年度の削減率を達成するための対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせる場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策10
1 1	2 1	2 3	2 9	9 9					

その他（19, 29, 39, 49, 59, 99）を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

29の補足
・揮発性有機化合物の仕込み、充填作業の密閉化を計り、VOC排出量を削減する様に対策をする。
99の補足
・品種切替時の洗浄・乾燥による大気への排出を抑制する為の改善を図る。
・真空ポンプの構造の最適化を図り、大気放出量の抑制に寄与し、窒素使用量の削減に取り組む。

備考 3 (2) に記載する対策も含めて記載すること。

イ 目標年度の削減率を達成するために実施する対策の内容

(1)の目標年度の削減率を達成するため、基準年度の翌年度以降新たに実施し、又は実施した対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせる場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策10
1 1	2 1	2 3	2 9	9 9					

(その三)

工場又は事業場の名称	三井造船株式会社 千葉事業所
------------	-------------------

(2) 揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

ア 計画年度に実施する対策の内容

(1)の計画年度の削減率を達成するための対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせる場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策10
1 2	1 9	2 2	5 4						

その他 (19, 29, 39, 49, 59, 99) を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

対策 2 について
建造船居住区内 (屋内) で使用する塗料の一部を水性塗料へ切替え
※ 国際海事機関による船舶建造のルール変更により、平成24年以降の建造船は塗装基準の強化 (塗装膜厚が従来の1.4倍) により、塗装面積あたりの塗料の使用量は増加している。
対策
建造船の塗装面積に占める割合の多いバラストタンクについては、これまで黒色の塗料を使用してきたが、船舶建造に係る国際ルールの変更に伴う塗膜厚の検査が厳しくなり、施工時に色では塗膜状況が確認できず、検査時点で再施工になるケースが多かった。
塗膜厚不良で再施工を減らすため、塗り重ねた色で塗膜厚が分かる塗料に切替え、
施工ミスを大幅に減らし、再施工による塗装使用を減らした。

備考 3 (2) に記載する対策も含めて記載すること。

イ 目標年度の削減率を達成するために実施する対策の内容

(1)の目標年度の削減率を達成するため、基準年度の翌年度以降新たに実施し、又は実施した対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせる場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策10
1 2	1 9	2 2	5 4						

(その三)

工場又は事業場の名称	出光興産株式会社 千葉工場
------------	------------------

(2) 揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

ア 計画年度に実施する対策の内容

(1)の計画年度の削減率を達成するための対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせる場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策 10
3	1	4	1	5	1	5	9		

その他(19, 29, 39, 49, 59, 99)を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

<p>・出光興産(株)千葉工場では、これまでに固定屋根式タンクを内部浮屋根式タンクへ変更および、排出ガス中の揮発性有機化合物を吸着回収する設備の設置等により大気中への排出量を減少してきた。</p> <p>・平成21年度はポンプ軸封からの飛散を減少させるために、軸封の改善を行った。</p> <p>・目標年度(平成22年度)の排出量計画は当初、120,000kgにしていたが、2年に1回の定期補修工事に伴うロス量を新たに計上することで排出量計画値を140,000kgへ改めた。</p> <p>・対策4について、平成24年度にポリカーボネート装置の排水スリッパ-改造を行った。</p> <p>・平成26年度の排出量実績は施設の停止や稼働率の低下等で平成25年度実績対比で約25%の減少となった。</p> <p>・ポリカーボネート製造施設の稼働停止により、排出量計画値は減少し、基準年対比で90%以上の削減になります。</p>
--

備考 3(2)に記載する対策も含めて記載すること。

イ 目標年度の削減率を達成するために実施する対策の内容

(1)の目標年度の削減率を達成するため、基準年度の翌年度以降新たに実施し、又は実施した対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせる場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策 10
3	1	4	1	5	1	5	9		

(その三)

工場又は事業場の名称	コスモ石油株式会社 千葉製油所
------------	--------------------

(2) 揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

ア 計画年度に実施する対策の内容

(1) の計画年度の削減率を達成するための対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせる場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策 10
4 1	5 2	5 9							

その他 (19, 29, 39, 49, 59, 99) を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

1. 対策1として原油、揮発油（製品ガソリン、中間ガソリン、ナフサ等）、JET燃料油のタンクは全て浮き屋根式あるいは内部浮き屋根式であり、VOC対策は本条例の基準年度以前に全て完了しており、これらのVOC対策済タンクの維持管理を確実に実施する。
2. 対策2の第1陸上出荷場（ローリー出荷）及び第2陸上出荷場（タンク貨車出荷）における揮発油の積み込み時に発生するVOC対策として、VOC回収装置（吸収溶剤灯油）を既に設置（第1出荷：昭和63年、第2出荷：平成2年）しており、現在はこれを維持・管理している。
3. 対策3のその他として、VOC回収装置でのVOC回収量を少しでも上げる為に、夏期には当該設備に冷却散水を行いVOC排出抑制に取り組んでいる。

備考 3 (2) に記載する対策も含めて記載すること。

イ 目標年度の削減率を達成するために実施する対策の内容

(1) の目標年度の削減率を達成するため、基準年度の翌年度以降新たに実施し、又は実施した対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせる場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策 10
4 1	5 2	5 9							

(その四)

工場又は事業場の名称	コスモ石油株式会社 千葉製油所
------------	--------------------

3 基準年度以前から実施している揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策
(1) 基準年度における処理回収率等

	基準年度				
	平成12年度				
使用量 (kg/年度) (1億キログラムを超える場合は、下段に指数表示で記載すること。)	9	7	×	10	09
排出等の量 (kg/年度)	3	9	0	0	00
処理回収率 (%)	100				

基準年度までに、浮屋根式タンク又は内部浮屋根式タンクに改造した固定屋根式タンクの基数(基)				
53				

備考

- この項の提出は任意であること。
- 基準年度は、2(1)の基準年度と一致させること。
- 使用量及び排出等の量は、2(1)の基準年度におけるものと一致させること。
- 処理回収率は、次の式により算出される数値を有効数字2桁で記載すること。

$$\{ (\text{使用量} - \text{排出等の量}) / \text{使用量} \} \times 100$$

(2) 基準年度以前から実施している対策の内容

基準年度以前から実施していた対策であって、現在も実施しているものについて、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせる場合は、全ての対策について記載すること。

対策1	対策2	対策3	対策4	対策5	対策6	対策7	対策8	対策9	対策10
41	52	59							

その他(19, 29, 39, 49, 59, 99)を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

対策1：原油、半製品、製品の揮発性の高い油種の貯蔵タンクは、全て浮き屋根式あるいは内部浮き屋根式タンクを使用しており、現在、これらの維持・管理を継続している。
対策2：陸上出荷場（第1出荷場：ローリー出荷、第2出荷場：タンク貨車出荷）において、揮発油の積み込み（出荷）時に発生するVOCを回収すべくVOC回収装置を既に設置しており、現在も、これら設備の維持・管理を継続している。
対策3：対策2を少しでも改善する為、夏期においてはVOC回収装置への冷却散水を行いVOC排出抑制に努めている。

備考 この項の提出は任意であること。

(その三)

工場又は事業場の名称	大洋塩ビ株式会社 千葉工場
------------	------------------

(2) 揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

ア 計画年度に実施する対策の内容

(1)の計画年度の削減率を達成するための対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施しようとする場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策10
2 9	3 1	5 1	5 9						

その他（19, 29, 39, 49, 59, 99）を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

<p>【対策1】について</p> <p>・安定操業により現状を維持する。</p>
<p>【対策4】について</p> <p>・廃液処理塔を設置し、スチームストリッピングにより排水中の塩ビモノマーを回収する。</p>
<p>イの【対策5】について</p> <p>・タンク開放点検前に水張りを実施し、塩ビモノマーガスを回収しました。</p> <p>・タンク開放点検前に窒素で置換し、塩ビモノマーガスを回収しました。</p>

備考 3 (2) に記載する対策も含めて記載すること。

イ 目標年度の削減率を達成するために実施する対策の内容

(1)の目標年度の削減率を達成するため、基準年度の翌年度以降新たに実施し、又は実施した対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施しようとする場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策10
2 9	3 1	5 1	5 9	9 9					

(その三)

工場又は事業場の名称	富士電機株式会社 千葉工場
------------	------------------

(2) 揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

ア 計画年度に実施する対策の内容

(1)の計画年度の削減率を達成するための対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせる場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策 10
1 1	2 1	2 9							

その他 (1 9, 2 9, 3 9, 4 9, 5 9, 9 9) を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

対策 1 について
溶剤の低含有塗料による製品塗装の適用拡大
対策 2 について
溶剤缶の揮発防止蓋の取り付けと励行 (指導と実施状況の監視)
対策 3 について
上塗り残塗料の転用 (中塗り塗料として使用率の向上、事業所設備の塗装)
及びシンナー回収機による、廃溶剤からのシンナー回収
廃シンナーの回収 (リサイクル事業者に売却)

備考 3 (2) に記載する対策も含めて記載すること。

イ 目標年度の削減率を達成するために実施する対策の内容

(1)の目標年度の削減率を達成するため、基準年度の翌年度以降新たに実施し、又は実施した対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせる場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策 10
1 1	2 1	2 9							

(その三)

工場又は事業場の名称	五井化成株式会社株式会社 本社工場
------------	----------------------

(2) 揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

ア 計画年度に実施する対策の内容

(1)の計画年度の削減率を達成するための対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせる場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策10
5	2	5	9						

その他(19, 29, 39, 49, 59, 99)を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

対策について

平成19年度5月、VOC吸収装置を設置。対策2の内容。(重油吸着)

備考 3 (2) に記載する対策も含めて記載すること。

イ 目標年度の削減率を達成するために実施する対策の内容

(1)の目標年度の削減率を達成するため、基準年度の翌年度以降新たに実施し、又は実施した対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせる場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策10
5	2	5	9						

(その四)

工場又は事業場の名称	五井化成株式会社 本社工場
------------	------------------

3 基準年度以前から実施している揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

(1) 基準年度における処理回収率等

	基準年度									
	平成12年度									
使用量 (kg/年度) (1億キログラムを超える場合は、下段に指数表示で記載すること。)	1	5	0	0	0	0	0	0	0	.
	× 1 0									
排出等の量 (kg/年度)			1	1	0	0	0	.		
処理回収率 (%)	1 0 0 .									

基準年度までに、浮屋根式タンク又は内部浮屋根式タンクに改造した固定屋根式タンクの基数(基)

--	--

備考

- 1 この項の提出は任意であること。
- 2 基準年度は、2(1)の基準年度と一致させること。
- 3 使用量及び排出等の量は、2(1)の基準年度におけるものと一致させること。
- 4 処理回収率は、次の式により算出される数値を有効数字2桁で記載すること。

$$\{ (\text{使用量} - \text{排出等の量}) / \text{使用量} \} \times 100$$

(2) 基準年度以前から実施している対策の内容

基準年度以前から実施していた対策であって、現在も実施しているものについて、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせる場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策 10
5	2	5	9						

その他(19, 29, 39, 49, 59, 99)を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

--	--

備考 この項の提出は任意であること。

